

あさか環境市民会議 運営会議 議事録

日 時：令和5年8月1日（火）午前10時～11時45分

場 所：リサイクルプラザ

出席者：明山副会長、田中副会長、栗田会計、沢田会計、青山さん、遠藤さん、兼本さん、小林（眞）さん、豊田さん、長谷川さん、山本さん、渡辺（や）さん
事務局（内田）

1 報告と振り返り

資源リサイクル課より

一般廃棄物処理基本計画に関してフリートーク（抜粋）

- ・プラスチック容器の廃棄について⇒油分がついていたり、臭いが残っているとリサイクルできない。
- ・ペットボトルについて⇒中身が少し残っていても洗う必要はない。
- ・鉄缶、アルミ缶を分別する必要があるのか⇒鉄は磁石でつくので分別の必要はない。クリーンセンターで分別を行う。
- ・ランドセルの再利用についてもっと啓発すべきではないか⇒検討する。
- ・マンションと家庭、または市町村ごとで分別の細かさが異なる。どうにかならないか⇒市町村では一方はリサイクルのため、一方は火力発電の燃料のためと目的が異なることもある。周知啓発を行っていききたい。
- ・朝霞市内にグリーンチップにしてくれる会社はあるのか⇒内間木にグリーンウッドという会社がある。
- ・松永会長からの質問については別途資源リサイクル課の方から回答する。

～岡～

- ・ヒルマ氏宅の近くに伐採した竹を仮置きしている。今後、この竹を斜面林に運んで土留めにしたいと思っている。
- ・この竹がヘビの住処になって困っているとクレームが来ているが、そのうち動かす予定であるし、生物多様性の観点からも簡単には駆除できないので様子を見ることとする。

～宮戸～

- ・草刈りを4日程度行った。
- ・キツネノカミソリが丁度、出てきている。手入れをしないとうまく咲かない。
- ・つる草が茂ってヤマユリも倒されている。思い切って機械を入れた。
- ・ヨメナ、イヌショウマ、シラヤマギクが花茎をのばしている。
- ・刈った草木が枯れてキツネノカミソリのオレンジ色が見えている。オレンジとグリーンの配色が好まれるが、グリーンの調整は難しい。試行錯誤が必要かもしれない。

～根岸台～

- ・緑地の草刈り業者が決まったが9月までに行う予定だが、日程は決まっていない。
- ・伐採した木材は再利用したい。

黒目川川まつりについて

- ・7月8日に実行委員会があり、委員長に小林知輝さんと藤井久美子さんが選出された。
- ・以前は、市・教育委員会・朝霞県土整備事務所・荒川上流河川事務所に依頼していた。コロナ禍前は小学生に向けてチラシを配っていたが、今回は配付しないかもしれない。
- ・子ども食堂のモロズミさんに依頼し、近隣4市の関連グループにチラシを置いてもらう予定である。
- ・本町商店会、わくわく新河岸川みどりの会も参加予定であり、あさか環境市民会議も協賛金2,000円を支払った。
- ・居酒屋なごみさんが焼きそば、焼き鳥を出店してくれる予定。
- ・内容は10時から10時半が川そうじ
10時半から14時までが川遊び（ボート、カヌーなど）
ザリガニ釣り、スイカ割りは本町商店会からの提供。
- ・来賓は現時点では不明。
- ・環境推進課職員には水質検査の手伝いをお願いしたい。
- ・草刈りは20日午前8時から小林副会長、明山副会長、原沢さん、山本さんで実施予定。
10小関係者が下刈りをしてあるため、以前の草むらの状態では無いので作業は緩和されると思う。
- ・例年、四葉会（立正佼成会）からテントを借用していたが、簡易テントを購入予定のため、今年は借用しないので準備作業は軽減されると思う。

秋の観察会及び黒目川エコ探検について

- ・秋の観察会は見ると植物がない。みどり公園課より冬の明かりテラスで竹を使って何かできないかと相談があり竹でベンチ、竹灯籠展示など提案があった。
観察会に代わる市民参加で竹を利用した工作の提案があった。
うちわ、花瓶などを作るものづくり体験の実施をして市民と一緒に作ってはどうか。
岡緑地なら町内会館を借りて電源を確保できる。
- ・黒目川エコ探検は11月12日はどうか。
広報は10月号で間に合うため、次回会議まで持ち越し。

2 その他

○「朝霞の森」に持ち込み可の木のサイズ

- ・直径30cm以下 長さ2m以下
直径30～50cm以下 長さ1m以下
直径50cm以上 事前協議
- ・今後、市の公共施設の作業する際は、市役所から業者に上記の件を伝えて朝霞の森に搬入してもらうのはどうか。

次回運営会議は9月5日（火）10：00から リサイクルプラザ3階会議室